

平成31年度 港区立南山小学校経営計画

平成31年4月10日

教育目標 : ○ じょうぶで明るい子 ○ よく考え 最後までやりぬく子 ○ 友だちとなかよく協力する子

- 目指す学校像 ・子ども一人一人が学力と体力を身に付ける学校 ・子ども一人一人に居場所がある学校 ・組織の力で課題解決を図る学校 ・保護者と地域から信頼される学校
- 目指す児童像 ・自ら学び、考え、判断できる子・友達との関わりながら学ぶ子 ・自他の生命を尊重し、思いやりのある子 ・進んで運動し、親しむことができる子 ・学校や地域を愛し、他者と豊かにかかわる子
- 目指す教師像 ・公教育を担う教師の誇りと自覚、研ぎ澄まされた人権感覚を有する教師 ・愛情と熱意にあふれ、常に児童理解に努める教師 ・高い専門性と豊かな人間性を備えた学び続ける教師

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組に関する目標及び数値	成果に関する目標及び数値	取組の具体例	
確かな学力	新しい時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価の充実を図るため、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善により、児童一人一人に質の高い学びを実現する。	児童が安心できる学級経営を土台として、児童一人一人に学力を付けることを目的とし、その必要な手立てを組織的・計画的に取り組む。	・東京方式「一単位時間の授業スタイル」（課題解決→自力解決→交流→自己解決）を全校で取り組み、学びに向かう意欲を高めるとともに、安心して学習に取り組める学習集団をつくる。	4 全学級が東京方式を実施	4 安心して発言・発表ができる児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京方式</li> <li>・少人数指導</li> <li>・人的支援の活用</li> <li>・効果的な発問や板書の工夫</li> <li>・QU結果の活用</li> </ul>	
				3 90%以上の学級が実施	3 安心して発言・発表ができる児童80%以上		
				2 80%以上の学級が実施	2 安心して発言・発表ができる児童70%以上		
				1 実施した学年80%未満	1 安心して発言・発表ができる児童70%未満		
			・年間指導計画に基づき、週の指導計画や個別指導計画を生かして「分かる」「楽しい」授業を重視した授業スタイルを展開する。	4 全学級が計画を実施	4 授業が分かるという児童90%以上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力調査等の活用、分析</li> <li>・区・都・国の研修</li> <li>・研究授業</li> <li>・自己評価や相互評価の工夫</li> </ul>
				3 90%以上の学級が実施	3 授業が分かるという児童80%以上		
				2 80%以上の学級が実施	2 授業が分かるという児童70%以上		
				1 実施した学級が80%未満	1 授業が分かるという児童70%未満		
			・小集団、学級全体、対話などの「学び合い」「認め合い」の形態を授業に計画に位置付け、一単位時間の授業の充実を図る。	4 全学級が取組を実施	4 表現することが楽しい児童80%以上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の伝統、人材活用</li> <li>・企業や地域資源の活用</li> <li>・情報機器の活用</li> <li>・学習形態の工夫</li> <li>・QU結果の活用</li> </ul>
				3 90%以上の学級が実施	3 表現することが楽しい児童70%以上		
				2 80%以上の学級が実施	2 表現することが楽しい児童60%以上		
				1 実施した学級が80%未満	1 表現することが楽しい児童60%未満		
豊かな心	人権教育を基本とし、児童一人一人の道徳性を培うとともに、健康で安心・安全な学校生活を送る。	道徳教育を推進し、生命尊重や他を思いやる心の育成を図るとともに、規律や規範意識の向上を図る。	・学校生活のきまりや学びの姿勢を全校で取り組み、安全に生活するためのルールを守る指導の充実を図る。	4 全学級が計画を実施	4 進んであいさつ、返事できる子が90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動</li> <li>・名前を呼ばれたら元気に「はい」と返事をする。</li> <li>・話を聞く ・正しい姿勢</li> <li>・保、幼稚園、中学校、高校との連携・学級、学年間交流</li> <li>・国際学級との交流学习</li> <li>・大使館との交流</li> <li>・教材研究と教材の工夫</li> <li>・副読本、都教材の活用</li> <li>・地域人材の活用</li> <li>・公開講座の内容の工夫</li> <li>・いじめ防止基本方針</li> <li>・人権教育プログラムの活用</li> <li>・SCとの連携、QU結果の活用</li> <li>・ふれあいアンケートの実施</li> </ul>	
				3 90%以上の学級が実施	3 進んであいさつ、返事できる子が80%以上		
				2 80%以上の学級が実施	2 進んであいさつ、返事できる子が70%以上		
				1 実施した学級が80%未満	1 進んであいさつ、返事できる子が70%未満		
			・行事で達成感や達成感を味わわせるとともに、異学年や地域の方等との関わりを通して互いを認め、尊重する心を育てる。	4 全学級が計画を実施	4 自分や友達が好きと思う児童90%以上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保、幼稚園、中学校、高校との連携・学級、学年間交流</li> <li>・国際学級との交流学习</li> <li>・大使館との交流</li> <li>・教材研究と教材の工夫</li> <li>・副読本、都教材の活用</li> <li>・地域人材の活用</li> <li>・公開講座の内容の工夫</li> </ul>
				3 90%以上の学級が実施	3 自分や友達が好きと思う児童80%以上		
				2 80%以上の学級が実施	2 自分や友達が好きと思う児童70%以上		
				1 実施した学級が80%未満	1 自分や友達が好きと思う児童70%未満		
			・ねらいを大切にし、考え、論議する道徳の授業の工夫と改善に努める。 (意見交換の場の設定と授業時数、板書)	4 全学級が計画を実施	4 自分や他者の心について考え、表現できた児童90%以上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材研究と教材の工夫</li> <li>・副読本、都教材の活用</li> <li>・地域人材の活用</li> <li>・公開講座の内容の工夫</li> </ul>
				3 90%以上の学級が実施	3 自分や他者の心について考え、表現できた児童80%以上		
				2 80%以上の学級が実施	2 自分や他者の心について考え、表現できた児童70%以上		
				1 実施した学級が80%未満	1 自分や他者の心について考え、表現できた児童70%未満		
いじめや不登校等の課題の未然防止・早期発見・早期対応を図る。	・安心して学べる授業づくりや認め合う集団づくりを通して、未然防止と早期発見に取り組む。	4 全学級がいじめを解消	4 いじめは絶対にいけないと考える児童100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止基本方針</li> <li>・人権教育プログラムの活用</li> <li>・SCとの連携、QU結果の活用</li> <li>・ふれあいアンケートの実施</li> </ul>			
	3 90%以上の学級が解消	3 いじめは絶対にいけないと考える児童95%以上					
	2 80%以上の学級が解消	2 いじめは絶対にいけないと考える児童90%以上					
	1 解消した学級が80%未満	1 いじめは絶対にいけないと考える児童90%未満					
たくましい心と体	体力の向上と健康の保持増進を図り、元気にたくましく生活できる、心身共に健康な児童を育てる。	体育の授業や行事等を通して運動に親しむとともに、オリンピック・パラリンピック教育を通じて、体力の向上や健康の保持増進を図る。  ・危険を予知したり、回避したりできる能力を身に付けるため、安全教育の充実を図る。	・体育の授業改善を図り、運動の「量と質」を確保するとともに、体力テストの結果を体力づくりに活用する。	4 全学級が計画を実施	4 体育や運動が楽しい児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育科指導での教材研究</li> <li>・実技研修会、OJT</li> <li>・体力テストの活用</li> <li>・体力アップタイムと継続的な運動</li> <li>・オリンピック・アスリートを招いた授業や交流</li> <li>・食育の推進</li> <li>・家庭や校医との連携</li> <li>・SCの活用</li> <li>・関係機関との連携</li> <li>・避難訓練</li> <li>・関係教材の活用</li> <li>・3.11を忘れない集会</li> </ul>	
				3 全学級が80%実施	3 体育や運動が楽しい児童80%以上		
				2 全学級が70%実施	2 体育や運動が楽しい児童70%以上		
				1 全学級が70%未満	1 体育や運動が楽しい児童70%未満		
			・オリンピックやアスリートとの交流を通じて、スポーツや運動に親しむ意欲を高める。	4 全学級が計画を90%実施	4 交流が楽しいと感じる児童90%以上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・アスリートを招いた授業や交流</li> <li>・食育の推進</li> <li>・家庭や校医との連携</li> </ul>
				3 全学級が計画を80%実施	3 交流が楽しいと感じる児童80%以上		
				2 全学級が計画を70%実施	2 交流が楽しいと感じる児童70%以上		
				1 全学級が計画を70%未満	1 交流が楽しいと感じる児童70%未満		
				4 全学級が計画を90%実施	4 安全を意識して生活できた割合90%以上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCの活用</li> <li>・関係機関との連携</li> <li>・避難訓練</li> <li>・関係教材の活用</li> <li>・3.11を忘れない集会</li> </ul>
				3 全学級が計画を80%実施	3 安全を意識して生活できた割合80%以上		
				2 全学級が計画を70%実施	2 安全を意識して生活できた割合70%以上		
				1 全学級が計画を70%未満	1 安全を意識して生活できた割合70%未満		

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組に関する目標及び数値	成果に関する目標及び数値	取組の具体例
特別支援教育の推進	特別支援教室の児童の社会的自立を目指し、障害の状況に応じた指導内容・方法の工夫と充実を図る。また、通常の学級に在籍している支援が必要な児童に対して指導法の改善と充実を図る。	障害の状況に応じた指導の充実を図るため、一人一人の実態を踏まえた学校生活支援シートの作成や個別指導計画に基づいた指導を組織的に進める。通常学級にいる児童の困り感を的確に把握し、指導・支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導計画に基づいた学習を積極的に進め、相互理解や心の交流を図り、楽しく学校生活を送れるようにする。</li> <li>・保護者や在籍学級、専門家等との連携を深め、児童一人一人の課題に応じた指導や支援を行う。</li> <li>・特別支援教育の視点からの支援体制や環境を整え、児童が安心して学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	4 学級が計画・取組を実施	4 学校生活が楽しい児童 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の学級での教科学習</li> <li>・宿泊行事</li> <li>・委員会活動、クラブ活動</li> <li>・交流給食</li> <li>・保護者との面談</li> <li>・特支校内委員会</li> <li>・特別支援教育コーディネーター</li> <li>・特別支援教室専門員・巡回指導員、巡回心理士、学習支援員との報告、連絡、相談</li> <li>・学校生活支援シートの活用</li> <li>・ユニバーサルデザインの教室環境づくり</li> <li>・個々に合った教材や支援</li> </ul>
				3 90%以上の実施	3 学校生活が楽しい児童 80%以上	
				2 80%以上の実施	2 学校生活が楽しい児童 70%以上	
				1 実施が80%未満	1 学校生活が楽しい児童 70%未満	
				4 全学級等が計画・取組を実施	4 指導への保護者満足度 80%以上	
				3 90%以上の学級等が実施	3 指導への保護者満足度 70%以上	
				2 80%以上の学級等が実施	2 指導への保護者満足度 60%以上	
				1 実施した学級が80%未満	1 指導への保護者満足度 60%未満	
				4 全学級が計画・取組を実施	4 安心して学習に取り組めた児童 80%以上	
				3 90%以上の学級が実施	3 安心して学習に取り組めた児童 70%以上	
				2 80%以上の学級が実施	2 安心して学習に取り組めた児童 60%以上	
				1 実施した学級が80%未満	1 安心して学習に取り組めた児童 60%未満	
信頼される学校づくり	保護者や地域との連携を重視するとともに、学校教育活動を広く公開し、学校に対する信頼を強固なものにする。	学校行事や土曜授業、開かれた学校づくりを組織的に実施するとともに、地域や保護者と連携した事業に積極的に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の成長や努力がわかるよう、運動会や学芸会、地域の教育力活用に向けた計画及び実施内容を工夫する。</li> <li>・土曜授業や公開授業、保護者との面談、日常的な連絡等を通して、保護者が学校に相談しやすい環境や体制をつくる</li> <li>・ホームページや学校だより、通知等の内容を充実させ、タイムリーかつ、わかりやすいものにする。</li> </ul>	4 全学級が計画・取組を実施	4 保護者の満足度 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校行事</li> <li>・大使館や地域の方との交流</li> <li>・和作法、茶道、和楽器、染小紋など</li> <li>・授業参観</li> <li>・学校公開</li> <li>・PTAとの連携</li> <li>・学校運営協議会の運営</li> <li>・ホームページの工夫</li> <li>・宿泊行事中の更新</li> <li>・随時更新</li> </ul>
				3 90%以上の実施	3 保護者の満足度 80%以上	
				2 80%以上の実施	2 保護者の満足度 70%以上	
				1 実施が80%未満	1 保護者の満足度 70%未満	
				4 全学級等が計画・取組を実施	4 学校に相談しやすい保護者 95%以上	
				3 90%以上の学級等が実施	3 学校に相談しやすい保護者 90%以上	
				2 80%以上の学級等が実施	2 学校に相談しやすい保護者 80%以上	
				1 実施した学級が80%未満	1 学校に相談しやすい保護者 80%未満	
				4 全学級が計画・取組を実施	4 保護者の満足度 80%以上	
				3 90%以上の学級が実施	3 保護者の満足度 70%以上	
				2 80%以上の学級が実施	2 保護者の満足度 60%以上	
				1 実施した学級が80%未満	1 保護者の満足度 60%未満	